

## 富士見町観光施設事業経営戦略

団 体 名 : 富士見町

事 業 名 : 観光施設貸付事業

策 定 日 : 令和 4 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

※複数の施設を有する事業にあっては、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

## 1. 事業概要

## (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適用	事 業 開 始 年 度	平成15年度
事 業 の 種 類	観光施設貸付事業	施 設 名	富士見パノラマリゾート
職 員 数	0 人		
事 業 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴンドラリフト・ペアリフトなど構築物・機械及び装置の貸付</li> <li>・事務所、ゴンドラステーションなど建物の貸付</li> <li>・圧雪車、降雪車など車両及び運搬具の貸付</li> <li>・無線機、電源装置など器具及び備品の貸付</li> </ul>		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	平成15年より一般社団法人富士見パノラマリゾート観光施設賃貸借契約を締結	
	イ 指定管理者制度	実施していない	
	ウ PPP・PFI	導入していない	

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	<b>【施設賃貸借料】</b> 年間:103,714,286円 <b>【賃貸借料の考え方】</b> 施設の維持修繕と長期貸付金の償還金に係る費用の合計	
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	平成31年3月	

(3) 現在の経営状況

年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	R2	179,140人	R1	239,854人	H30	244,537人
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R2	292%	R1	337%	H30	480%
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R2	292%	R1	337%	H30	480%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	R2	140%	R1	172%	H30	0%

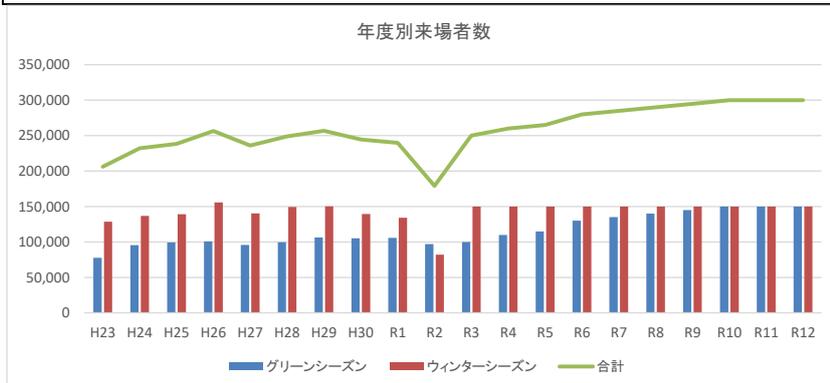
令和元年度に富士見パノラマリゾート再生支援計画の変更による賃借料の見直しが行われたため、経常収支比率が下がっている。今後、施設の長寿命化に向けた各種調査や計画策定等に取り組む中で、経常収支計画の見直しを行い、適切な経営を行う。

2. 将来の事業環境

(1) 宿泊客数(観光客数)の見通し

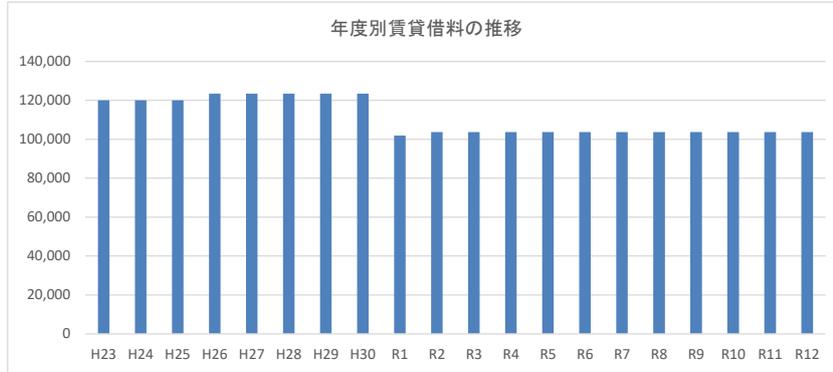
来場者数は、平成21年の「パノラマ強化方針」による経営改善に取り組むことで、平成26年度に256,554人まで来場者数が増加した。その後は、自然条件や交通事情など様々な条件に左右されつつ来場者数はほぼ横ばいで推移している。年度別来場者数(下記グラフ参照)

令和2年2月以降は、新型コロナウイルス感染症による影響もあり、来場者数が減少した。積極的な誘客キャンペーンによりグリーンシーズンの観光客数は一時的に回復傾向となったが、ウィンターシーズンの観光客数は減少傾向にある。現在は年間250,000人前後の観光客数を見込んでいる。



(2) 料金収入の見通し

平成14年度の上下分離方式による資産の買い取り以降、特別会計の歳入の大半は、施設の賃借人からの施設賃貸借料を財源として運営している。  
 資産の維持修繕に係る費用と長期貸付金の返還金の合計を賃借料として設定している。  
 平成17年に「パノラマリゾート支援計画」再構築を行い、5年ごとの見直しを行っている。  
 令和元年度より、富士見パノラマリゾートと貸付金の返済を含めた協議を行い現在の賃借料となっている。



(3) 施設の見通し

通常の施設修繕については、富士見パノラマリゾートにて、点検・管理を実施している。今後も、町の総合管理計画及び個別施設計画に基づき、随時施設修繕更新改修を行うことで、施設等の計画的かつ適正な長寿命化を図っていく。  
 令和元年度は大規模改修工事として高圧ケーブル更新工事の発注を行い、2か年に渡りケーブルの敷設替えを行った。

過去3年間の施設修繕実績

【令和2年度】

山麓駅内キュービクル内プレーカー交換工事	1,265,000
ゴンドラ・リフト整備工事	26,070,000
圧雪車整備工事	7,150,000
山麓池冷却タワー更新工事	5,599,000
スノーマシン整備工事	4,488,000
スーパーボールキャット降雪機修理工事	2,134,000
高圧ケーブル更新工事	147,400,000
その他修繕	3,291,799
合計	197,397,799

【令和元年度】

ゴンドラ原動装置等整備	31,218,000
山麓ポンプ室 加圧ポンプ更新	7,128,000
電気設備更新	3,769,200
山麓防水シート整備	2,905,200
スノーマシン整備	2,808,000
中継ポンプ室 水中ポンプ更新	1,650,000
その他修繕	943,300
合計	50,421,700

【平成30年度】

ゴンドラ索道機整備	15,854,400
ペアリフト整備	15,120,000
山麓ポンプ室 変圧器入替	7,776,000
スノーマシン整備	4,428,000
オリオン変圧器入替	4,003,344
中継ポンプNo.3ポンプ電動弁更新	1,458,000
その他修繕	1,360,206
合計	49,999,950

(4) 組織の見通し

職員数ゼロのため記載なし。

3. 経営の基本方針

富士見パノラマリゾートは、平成14年度の上下分離方式により経営しており、施設は町の所有物であるため、整備を行っていくのは町の責務である。そのため、富士見パノラマリゾートが施設を適切に運営できるよう、町は計画的に施設を整備していく。  
 パノラマリゾートが適切に運営されることで、観光客の増加と合わせて地域の雇用や経済の拡大、発展とともに地域振興に寄与することを目指していく。

#### 4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

##### ① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	利用者の安全確保のため、日常又は定期的な保守、点検業務を確実に実行しスキー場施設の維持管理に努める。 町の総合管理計画及び個別施設計画に基づき計画的な投資(修繕、更新、改修)を行う。 大規模改修や成長戦略での発展性にも着目し、施設の長寿命化に向けた各種調査や計画策定に取り組む。
-----	---

通常の維持管理、点検、施設等の修繕は、富士見パノラマリゾートで継続して実施するものとし、施設等の長寿命化を図りつつ、町とともに計画に沿った施設の改修、更新工事を行う。

##### ② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	施設の賃貸借料で財源を確保できるよう、富士見パノラマリゾートと連携し事業を継続していく。 観光施設貸付基金を活用しながら投資を行っていく。
-----	--

通常の施設投資については、賃貸借料を財源として実施するものとし、大規模改修等については富士見町観光施設貸付基金を財源として実施していく予定である。  
災害等緊急を要する大規模な修繕や改修の必要が生じたときは、富士見パノラマリゾートと協議し、必要な予算措置を行い改修等を実施していく。

##### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

--

### (3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。  
また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

#### ① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	平成18年度から民間企業と観光戦略や経営に関する業務委託を行っている。
投資の適正化	町の総合管理計画及び個別施設計画に基づき、施設の長寿命化を図るとともに、計画的かつ適正な維持管理を実施していく。
その他の取組	

#### ② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	現在の施設賃貸借料はパノラマリゾート再建計画のため一時減額の設定となっている。今後のリゾートの運営状況、社会経済情勢を総合的に判断し、協議により賃貸借料を決定していく。
稼働率・利用者数	来場者数はほぼ横ばいで推移しているため、グリーンシーズンの自然景観、環境を活用した取り組みを積極的に行っていく。
企業債	なし
繰入金	観光施設貸付事業のため、必要に応じて観光施設貸付財政調整基金より繰入を行う。
資産の有効活用等による収入増加の取組	なし
その他の取組	なし

#### ③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

使用料及び賃借料	長寿命化に向けた各種調査や計画策定、または今後の社会情勢に合わせて、富士見パノラマリゾート再生支援計画の見直しを行い検討していく。
管理運営費	施設賃貸借料で財源を確保し適切な運営に努める。
職員給与費	専属の職員がいないため職員給与はない。
その他の取組	富士見町の基幹観光拠点として積極的なPR活動を行い、町内全体の観光者数の増加を目指していく。

## 5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	富士見パノラマリゾートは本町の重要な基幹観光拠点であり、地域経済の活性化と発展や雇用の創出にも大きく貢献しており、大変重要な役割を果たしている。 本施設に付随する関係事業者が多く、町内経済に対する効果は大きい。 1年を通したアクティビティを提供できる施設として、町民の健康増進、観光客の誘致に貢献している。
公営企業として実施する必要性	富士見パノラマリゾートは本町の重要な基幹観光拠点であり、地域経済の活性化と発展や雇用の創出に大きく貢献している。

## 6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年度、経営戦略と実績の比較を行い、適切な事後検証を行うほか計画と実績に大きな乖離が生じた場合には、随時見直しを行う。また事業を取り巻く状況に変化がある場合にも随時更新を行い、より効率的な経営が行えるよう見直しを進める。
---------------------	--



